一般質問

※番号は発言順です

定例会では、市政全般について一般質問が行われます。今定例会では、19人の議員から30の質問があり、行政側の対応をただしました。掲載内容は、それを要約したものです。詳しくは、会議録・会議録検索システムでご覧いただけます。

◎会議録（11月下旬発行予定）
→図書館、市政図書室

◎会議録検索システム（11月下旬更新予定）
→市ホームページ

※情報端末機（パソコン）の設置場所は、市役所本庁舎1階市民相談室、七生支所、図書館、市政図書室、中央公民館、市立病院です。

本会議の様子をインターネットで録画配信しています。
市ホームページ ⇒ 市議会 ⇒ お知らせ ⇒ 議会中継 から
http://www.city.hino.lg.jp/

①窪田　知子（公明党）

通学路の緊急合同点検後の安全対策の取り組みについて

問　対策が必要な47カ所の今後の進め方、課題となる見守りについて問う。

答　予算措置が必要であると同時に、スクールガードボランティアのリーダー養成を含めて検討します。

ミニバスの利便性向上と今後の公共交通について

問　ミニバス路線再編の効果と利用実態調査の検証結果を問う。

答　再編後の利用者数が全体で約15％増加し、地区ごとの実態調査でも大半の地区で増加しました。

問　新設される施設への利便性を考慮した交通環境の整備を問う。

答　需要予測と開設後の状況を見て利用しやすい交通の実現を図ります。

②田原　茂（公明党）

公共施設の総合的アセットマネジメントを！

問　施設の維持管理についての考え方を問う。

答　利用状況や維持管理経費等について、（仮称）施設カルテを作成しています。作成後は、建て替えや改修等、整備計画の策定につなげていきます。

問　学校の建て替え計画について問う。

答　耐震化が難しい二中北校舎は平成27年度に建て替えるよう調整しています。新築後65年を目安に建て替えを計画しますが、大規模修繕で長寿命化を図り、同時期に集中しないよう考慮します。

問　専門的な知識を持つコンクリートドクター等の養成をしてはどうか。

答　平成25年度に橋梁長寿命化修繕計画を策定予定で、計画を有効に活用するためにも検討します。

③古賀　壮志（自民クラブ）

市職員の人材育成と確保について

問　市が求める人材像は。

答　使命感と目標を持って自律的に行動し、自ら成長出来ること、地域の未来を担う意欲にあふれていること、改革精神を持ち、地域経営の視点で行動出来ること、新しいことに意欲を持ってチャレンジする精神と向上心を持ち、横断的に仕事が出来ること、市民ニーズに的確に対応し、市民と協働出来る職員です。

問　採用時の基準を問う。

答　地方公務員法に基づき、本市の求める人材像にかなう職員を採用するため、筆記試験、面接、身体検査等を行い判断しています。

問　採用後の人材育成は。

答　研修所や職場での研修に加え、都等に派遣し、標準的・専門的知識と技術を習得させています。

④谷　和彦（自民クラブ）

難病患者に対する支援について

問　市の考えを問う。

答　障害者福祉支援法で、障害福祉サービスの給付対象となるため、国の動向等の情報を集め、適切に対応します。

教育現場の現状について

問　いじめを撲滅するための教育について問う。

答　人権教育を徹底し、児童・生徒に、いじめは絶対に許されないという指導を徹底します。

生活困窮者の支援について

問　市の就労支援の現状について問う。

答　平成23年度から、生活保護査察指導員及びケースワーカーの経験のある再任用職員を1人増員し、就労支援プログラムに取り組んでいます。

⑤大塚　智和（公明党）

消防活動用バイクの導入について

問　消防活動用バイクの導入について強く要請することを問う。

答　バイクには事故のリスク等があるため、軽自動車の導入を検討していますが、進入困難地域の消防活動を考えると、バイクの活用は重要です。まずは、東京消防庁に配備を働きかけていきます。

東京都地域防災計画に沿った日野市の防災対策推進について

問　防災力高度化に向けた取り組みについて問う。

答　都の想定を基に、現在、地域防災計画の修正のための準備を進めています。また、大災害に対応するために、自助・共助・公助の取り組みを強化し、関連機関と連携を図り、地域の防災力を高めたいと考えています。

⑥鵜澤　敏子（民主市民ネットワーク）

改めて問う、自転車をめぐるさまざまな課題の克服について！

問　自転車に対する市の基本的な考え方を問う。

答　手軽な乗り物である一方、放置自転車や道路の通行障害などの問題があり、利用環境の整備が必要と考えています。

問　自転車総合対策計画の推進状況を問う。

答　警察による啓発活動や交通違反への取り締まりなどを行うとともに、各計画の中で定めた自転車走行空間の確保について、日野警察と連携を取り、検討をしています。

問　学校での自転車の安全教育の実施状況について問う。

答　交通安全教室を教育課程に位置付けて実施しているほか、発達段階に応じた交通安全の指導を計画的に実施しています。

⑦佐藤　洋二（無会派）

投票、候補者名にマル付けて～開票素早く、無効も削減

問　投票用紙の候補者名に丸印を付けて投票する方法は、無効票を減らし、開票作業の迅速化が図られるが、見解を問う。

答　記号式投票には大きなメリットがあると認識していますが、自書式に戻す自治体もあり、今後調査研究をしていきます。

可燃ごみ、全部焼かずに再生

問　可燃ごみを発酵させて肥料と固形燃料にリサイクルする香川県三豊（みとよ）市の「トンネルコンポスト」の実用面の効用を問う。

答　臭気等の衛生上の問題等から可燃ごみは焼却処理が優れていると認識していますが、他の処理方法を含め、今後検討すべきかどうか確認していきます。

⑧中野　昭人（日本共産党）

生活保護制度についてあらためて考える！～扶養問題から孤独死と申請権、乱給と漏給、スティグマ、精神疾患利用者への支援、ケースワーカーの人員・専門性の問題まで～

問　生活保護実施へ向けた市の姿勢について問う。

答　申請権を侵害しないことは当然であり、国民の権利と認識しています。一方で、制度内容については十分な理解を得る必要があり、相談状況によっては他施策の活用等、適切な助言を行う事も重要と考え対応しています。

問　精神疾患を抱えた保護者への支援はどうか。

答　ヘルパーの派遣や保健師の巡回訪問等を実施しています。ケースワーカーだけでなく、様々な視点で受給者の状況を把握し、支援しています。

⑨江口　和雄（民主市民ネットワーク）

旭が丘、西平山地区の地域活動を支援するために、地区センターの建て替えと地域格差の解消を!!

問　今後50年のまちづくりにおける市民参画のあり方について問う。

答　グランドデザイン案に市民による懇談会での意見や子どもたちの目線での将来像を反映します。

問　歴史や地理的条件により、集会所等の公共施設の配置状況に不公平感があるが、見解を問う。

答　工場地域には、市民が交流出来る中規模施設がないと認識しています。

問　旭が丘、西平山の地区センターの建て替えは。

答　西平山では、八幡神社北側の日野バイパス延伸部に面する土地に、また旭が丘では、かしの木荘跡に出来る（仮称）発達支援センターの1室に設ける計画です。

⑩中谷　好幸（日本共産党）

市民参加で再生可能エネルギーの活用計画をつくろう―「地域新エネルギービジョン」の検証と行動計画の発展を

問　長期優良住宅等に門戸を開放したため、大手メーカーに仕事をとられ、エコ住宅が普及しなかったのではないか。

答　長期優良住宅は、ライフサイクルが長く、環境負荷が小さいため、適用しています。

問　太陽光発電システムの補助制度の適用条件を、国・都同様、新築住宅でなくても、受けられるようにすべきではないか。

答　住宅エコポイント制度の使用でリフォームした場合、適用になります。

問　行政とパートナーを組む住民組織の立ち上げについて問う。

答　環境基本計画の推進会議で検討していきたい。

⑪馬場　賢司（公明党）

いじめ防止対策強化～教育の諸課題等について問う

問　いじめは、いじめる側が100％悪いとの考え方の徹底について問う。

答　児童・生徒には、いじめはどんな理由であれ許されないこと、見て見ぬふりをしないことなどの事象を捉え、道徳教材を通して指導するなど、自他ともに大切にする心の育成、人権教育の充実が重要と考えています。

問　平成26年4月に（仮称）発達支援センターが開設される予定だが、開設に向けての進ちょく状況と取り組みを問う。

答　今年の4月に発達支援の充実に向けた組織・業務のあり方検討会を設置し、幼児から就学、その後18歳までの切れ目のない支援体制の構築を目指して、検討を進めています。

⑫奥野　倫子（日本共産党）

低所得者・生活保護受給者を孤立死させるな！国体に大盤振る舞いしながら「お金がない」は通用しない

問　難病医療費等助成を受けている方が生活保護を申請する際、市はどのように説明しているのか。

答　国民健康保険証や難病の医療券は利用出来なくなりますが、医療扶助で同様の医療が受けられる旨を説明しています。

問　長期入院をしていた生活保護受給者が無理なく在宅生活へ移行するための必要な支援策を問う。

答　状況に応じて関係機関が連携し、経済的・医療的支援など、必要な支援を行っています。

問　亡くなった方の個人情報の開示請求権は遺族には無いのか。

答　開示請求権は、原則本人そのものにあります。

⑬奥住　匡人（自民クラブ）

子供の力無限大～人生のメダリストを目指して

問　オリンピック・パラリンピック選手との出会いは成長に大きな力を与えるが、今後のトップアスリートの招請計画は。

答　あらゆるルートを通じて努力します。

問　自己表現能力は必須の技能と言われる中、教育現場での状況を問う。

答　各教科や特別活動などで判断力・表現力を育み、個性を生かしたコミュニケーション能力の育成に努めています。

問　大震災以来、自分で考え抜く力、他人を思いやる心の育成が重要視されているが、自助・共助教育の取り組みを問う。

答　教育目標にも掲げられており、防災教育、人権教育、学校行事、部活動等を通して自助・共助の精神を育んでいます。